

経営課題6: 区政運営基本方針に基づく 「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」

[戦略6-1: 豊かなコミュニティの実現]

[達成状況]

[アウトカム](重点目標)

身近な地域の中で、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合: 平成29年度までに 50%以上

59.7%

(—%)

※全区平均54.5%

[具体的取組]

◆「人と人とのつながりづくりの促進」を図るため、地域における見守り活動等の取組の紹介とアンケートの実施

【実績等】

- ・区広報紙での活動紹介 9回
- ・イベント等について効果を図るため、アンケートを実施するとともに、参加者や運営スタッフのつながりが広がるよう主催者等に働きかけ



[戦略6-2:多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)の実現]

[達成状況]

[アウトカム] (重点目標)

校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し、自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている区民の割合:

平成29年度までに 50%以上

84.9%

(—%)

※全区平均81.7%

[具体的取組]

◆「地域活動協議会を核とした自律した地域運営」「校区等地域を越えた多様な主体のネットワーク拡充」を図るための支援

【実績等】

- ・公金の使途を公表
- ・会計説明会の実施
- ・地域活動協議会情報の発信支援
- ・校区等地域を越えたまちづくりに関する活動を区ホームページやチラシにより紹介
- ・区ホームページに、活動主体の情報や検索するサイトを掲載



[アウトカム]

平成27年度中に地域資源に関する情報が得られる仕組みを
 立ち上げる： 平成27年度 立ち上げ

完了
 (—)

[具体的取組]

◆「地域資源が活用されやすい仕組みづくり」「地域資源の循環による継続的な地域活動の促進」を図るための各種取組の実施、および「本市事務事業の社会的ビジネス化」の推進

【実績等】

- ・地域や社会に存在する資源に関する情報を集約し、ホームページで紹介
- ・地域活動協議会に対して、天王寺区まちづくりセンターを活用し、コミュニティ・ビジネスやソーシャル・ビジネスの意義やメリット、地域イベントでの自主財源確保の事例等に関する情報交換会を実施 1回
- ・社会的ビジネス化を行っている事務事業を、検証のうえ継続して実施 4件
- ・新たに社会的ビジネス化の対象となる事務事業を実施(寺田町公園の清掃) 1件



[戦略6-4:地域公共人材の充実と中間支援機能の活用]

[達成状況]

[アウトカム] (重点目標)

多様な活動主体が中間支援組織から支援を受けていると感じている
活動主体の割合:

平成29年度までに 50%以上

92.3%

(—)

※全区平均80.0%

[具体的取組]

◆「地域公共人材の充実」および「活用」の促進、「中間支援組織」の効果的な活用

【実績等】

- ・担い手の発掘に向け、斬新かつすぐれた内容の企画・取組みの事業化を支援 2事業
- ・区ホームページに、地域公共人材に関する情報や検索するサイトを掲載、地域活動協議会に対して地域公共人材の役割等を紹介
- ・地域活動協議会の具体的活動の支援 8地域
- ・地域活動協議会の再開に向けた支援 1地域



桃丘(もちつき大会)



真田山(真田山カーニバル)



味原(味原小学校緑化維持管理事業)



生魂(高齢者食事サービス)



桃陽(ふれあい喫茶)

各地域の活動



大江(文化公演会)



天王寺(健康体操)



聖和(防災ふえすた)



五条(チャティサークル)

経営課題6の総括(取組み成果と今後の課題)

◇ 活力ある地域社会づくりに向け、区広報紙やホームページによる地域における各種人材や地域活動、地域団体の紹介、中間支援組織を活用した地域への各種支援により、地域住民の地域への関心を高めることや地域の自律的な運営、情報発信などについて、一定寄与することができたと認識しています。

◇ しかしながら、様々な活動主体の連携・協働による活動の推進や地域公共人材(ファシリテーション能力やコーディネート力などを持った人材)が活躍していると感じている区民の割合などは、平成29年度までの目標数値ではあるものの、乖離が大きい現状があります。

(参考)・地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などを持った人材が活躍していると感じている区民の割合：21.9%

(目標値：平成29年度までに50%以上) ※全区平均 12.6%

・校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合：25.4%

(目標値：平成29年度までに50%以上) ※全区平均 24.3%

◇ 地域ニーズを踏まえた取組みの見直しが必要であり、地域が課題として考えている内容の聞き取りを実施し、取組みを進めます。

自己評価結果の総括(まとめ)

★1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

みんなの『思い』が区政に反映されているまちをめざし、「あなたの声をつなげ隊」を中心に、区民の意見を積極的に聴取・集約し、施策展開や予算に反映させることができました。

- ・天王寺 真田幸村博
- ・シティ・プロモーション事業
- ・子育てスタート応援事業
- ・こどもの防犯に向けたまちづくり事業(防犯カメラ設置)
など

自己評価結果の総括(まとめ)

中でも、シティ・プロモーションの機運を醸成するため開催した「真田幸村博」は盛況のうちに終了し、着実に地域住民、地域団体、企業等による主体的なプロモーションにつなげることができました。さらに、NHK大河ドラマ「真田丸」の放映に合わせて、幸村ゆかりの地をめぐる「真田幸村めぐルート」を整備、「幸村」をキーワードに歴史的・文化的資産といった区の魅力を内外に発信できる環境が整ったと認識しています。

自己評価結果の総括(まとめ)

子育て世帯が多いといった地域特性に合わせ、乳幼児期から子どもの体験・教育機会等を提供する「子育てスタート応援事業」は3年目を迎え、申請率は堅調に推移しているものの、今後は利用率の向上が課題です。教育投資の促進など事業目的を踏まえて効果を検証しつつ、引き続き、利用促進に取り組めます。

自己評価結果の総括(まとめ)

★解決すべき課題と今後の改善方向

高齢者、要援護者の増加が見込まれる中、上町断層帯を抱える当区では、区民の安全・安心の確保が最重要課題であります。

これまでも、「出前講座」等による積極的な啓発や、区独自の備蓄品購入など防災拠点の充実に重点的に取り組んできました。

しかしながら、「災害時の持ち出し品の用意率」や「家具の固定率」等のアウトカムは、依然として目標を大きく下回っています。

自己評価結果の総括(まとめ)

予期せぬ災害に備え、“命を守る”自助、共助力の向上は喫緊の課題であり、熊本での震災を契機に防災意識が高まっている今こそ、注力して取り組むべきであると認識しています。

マンション住民への啓発の強化など区民1人ひとりの自助力の向上に取り組むとともに、高齢者、要援護者等の見守りや支援体制の構築を通じて緊急時に助け合える“地域のつながりづくり”に取り組むなど共助を促進することにより、だれもが安心して暮らせる“住みたいまち”をめざします。

《参考》平成27年度 決算見込額 ()カッコは当初予算額

経営課題1 区民の声集約プロセスの強化

○区政会議	8万円	(56万円)
○区民モニター(区政評価員)	90万円	(114万円)
○あなたの声をつなげ隊	6万円	(18万円)
○広報紙等	1,439万円	(1,592万円)

経営課題2 「日本一の文教『都市』」をめざした 人材育成の取組と海外人材の活用

○中高生向けインターンシップ	153万円	(161万円)
○天王寺区ジュニアクラブ	19万円	(34万円)
○英語による即興型ディベートスクール	405万円	(411万円)
○レジェンド・イン・ハイスクール	52万円	(58万円)
○子育てスタート応援券	686万円	(929万円)
○子育て情報アプリ「ぎゅっと！」	197万円	(203万円)
○子育て情報博覧会	21万円	(23万円)

経営課題3 お年寄り1人1人の命を守り抜く地域福祉

○独居高齢者等見守りサポーター事業	360万円	(636万円)
○地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業	1,303万円	(1,463万円)
○下寺町地域の交通手段確保事業	64万円	(233万円)

経営課題4 より多くの人の「災害対策リテラシー」を 向上する事業の追求

○区民巻き込みオペレーション(出前講座)	49万円	(56万円)
○災害対策情報の発信	26万円	(28万円)
○家具転倒防止器具取付事業	58万円	(224万円)
○地域防災計画の策定	87万円	(183万円)
○マンション等集合住宅への備蓄	33万円	(48万円)
○防災拠点の充実	85万円	(141万円)
○防犯カメラの設置・防犯教室	359万円	(802万円)
○迷惑駐輪防止の取組(ゆめまちロードなど)	15万円	(18万円)

経営課題5 戦略的なシティ・プロモーションの推進

○天王寺 真田幸村博	500万円	(500万円)
○天王寺区シティ・プロモーション事業	2,612万円	(3,114万円)
○グローバルビジネスプランコンテスト	3万円	(174万円)

経営課題6 区政運営基本方針に基づく「大きな公共を担う 活力ある地域づくり」

○地域活動協議会への財政的支援	1,579万円	(1,691万円)
○新たな地域コミュニティ支援事業	1,393万円	(1,413万円)
○地域課題解決担い手発掘事業	24万円	(31万円)